

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 23 日(2024.5.23)

【公開番号】特開 2022-187714(P2022-187714A)
【公開日】令和 4 年 12 月 20 日(2022.12.20)
【年通号数】公開公報(特許)2022-234
【出願番号】特願 2021-95857(P2021-95857)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 1

A 6 3 F 5/04 6 0 3 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 15 日(2024.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、

スタートスイッチの操作に基づき、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、

所定の当選役の入賞を補助する補助演出を実行する補助演出実行手段と、

前記補助演出が可能な有利区間と、前記補助演出が不可能な非有利区間とのいずれかを決定する演出状態制御手段と、

30

当選役の入賞を判定する判定手段と、

入賞した小役に対応する遊技価値を払い出す払出制御手段と、

を備え、

前記複数のリールには、第 1 リール、第 2 リール、および、第 3 リールが含まれ、

前記複数種類の当選種別には、複数種類の小役が重複して当選し、正解操作態様による操作が所定の小役の入賞条件として設定された複数種類の選択当選種別を含み、

前記第 2 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別と、

前記第 3 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別とは存在するが、前記第 1 リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別は存在せず、

40

前記リール制御手段は、前記当選種別抽選で前記選択当選種別が決定された遊技において、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも多数の遊技価値が払い出される小役が入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、

前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である失敗操作態様のうち、前記第 1 リールを最初に停止させる第 1 の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、1 遊技に対してベットされる遊技価値よりも少数の遊技価値が払い出される小役が必ず入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、

50

前記失敗操作態様のうち、前記第２リールまたは前記第３リールを最初に停止させる第２の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも少数の遊技価値が払い出される小役が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、回転している前記リールを停止させる制御を行い、

前記選択当選種別は、前記非有利区間から前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能であり、

前記演出状態制御手段は、ベットに係る遊技価値と獲得に係る遊技価値との差である差枚数が、前記有利区間において獲得可能な数と異なる特定値以上であれば、前記有利区間の終了に係る処理を実行する遊技機。

10

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記課題を解決するために、遊技機は、複数種類の当選種別のいずれかを当選種別抽選により決定する当選種別抽選手段と、スタートスイッチの操作に基づき、複数種類の図柄がそれぞれ配列された複数のリールを回転制御し、回転している前記リールに対応するストップスイッチの操作に応じ、操作された前記ストップスイッチに対応する前記リールをそれぞれ停止制御するリール制御手段と、所定の当選役の入賞を補助する補助演出を実行する補助演出実行手段と、前記補助演出が可能な有利区間と、前記補助演出が不可能な非有利区間とのいずれかを決定する演出状態制御手段と、当選役の入賞を判定する判定手段と、入賞した小役に対応する遊技価値を払い出す払出制御手段と、を備え、前記複数のリールには、第１リール、第２リール、および、第３リールが含まれ、前記複数種類の当選種別には、複数種類の小役が重複して当選し、正解操作態様による操作が所定の小役の入賞条件として設定された複数種類の選択当選種別（例えば、図４１における当選種別「打順ベル１」～「打順ベル１８」）を含み、前記第２リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別（例えば、図４１における当選種別「打順ベル１」～「打順ベル６」）と、前記第３リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別（例えば、図４１における当選種別「打順ベル７」～「打順ベル１２」）とは存在するが、前記第１リールを最初に停止させる操作態様が前記正解操作態様となる選択当選種別は存在せず、前記リール制御手段は、前記当選種別抽選で前記選択当選種別が決定された遊技において、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様で停止操作が行われた場合、１遊技に対してベットされる遊技価値（例えば、メダル３枚）よりも多数の遊技価値（例えば、メダル１５枚）が払い出される小役が入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記選択当選種別に対応する前記正解操作態様とは異なる操作態様である失敗操作態様のうち、前記第１リールを最初に停止させる第１の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも少数の遊技価値（例えば、メダル１枚）が払い出される小役が必ず入賞するように回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記失敗操作態様のうち、前記第２リールまたは前記第３リールを最初に停止させる第２の失敗操作態様で停止操作が行われた場合、停止操作のタイミングに応じて、１遊技に対してベットされる遊技価値よりも少数の遊技価値（例えば、メダル１枚）が払い出される小役が入賞する場合と、いずれの役も入賞しない場合とが存在するように、回転している前記リールを停止させる制御を行い、前記選択当選種別（例えば、有利区間抽選可当選種別）は、前記非有利区間から前記有利区間に移行させる抽選を行うことが可能であり、前記演出状態制御手段は、ベットに係る遊技価値（例えば、ベット枚数）と獲得に係る遊技価値（例えば、払出枚数）との差である差枚数が、前記有利区間において獲得可能な数（例えば、メダル２４００枚）と異なる特定値（例えば、メダル４００枚）以上であれば（例えば、図２９におけるステップＳ２８１－９

20

30

40

50

）、前記有利区間の終了に係る処理（例えば、図 29 におけるステップ S 281 - 15）を実行する。

10

20

30

40

50